

SERVICE

セキュリティ

サービス紹介資料

株式会社アルファネクスト

2026年8月発行

サービスの位置づけ

本資料は、セキュリティソリューションの提供範囲と進め方をまとめたものです。お客様の現在の体制に応じて、必要な範囲のみのご依頼も承ります。

対象となる課題

- ・ 年1回の外部診断のみで、日常的な検査の仕組みがない
- ・ 在宅勤務の拡大でVPNが輻輳し、接続が不安定になっている
- ・ 異動・退職時の権限変更が申請ベースで、実態と乖離している
- ・ バックアップは取得しているが、復元を実際に試したことがない
- ・ アラートが多すぎて、重要なものが埋もれている

提供メニュー

脆弱性診断	Webアプリケーション／プラットフォームを対象とした診断。指摘は影響度と緊急度の二軸で整理して提出します。
ゼロトラスト導入	ID起点のアクセス制御への移行設計と段階的な展開。VPNの全廃を前提とせず、依存を減らす進め方をとります。
SOC監視	24時間365日の有人監視と一次対応。国内2拠点体制。
バックアップ設計	世代設計の見直し、イミュータブル領域の分離、復旧演習の定例化。
教育・訓練	標的型メール訓練、実例を用いた勉強会。「引っかけた人を責めない」設計を基本とします。

診断の進め方

事前ヒアリング	対象範囲、実施可能な時間帯、影響が出た場合の連絡経路を確認します。
診断実施	リモートで実施します。対象規模により3日～2週間程度。
報告書提出	指摘事項を重要度で3分類し、対応順序の目安を併記して提出します。
報告会	指摘内容の説明と、対応方針のご相談。オンラインで90分程度。
再診断	対応完了後、修正箇所を対象に再度確認します（オプション）。

インシデント対応について

マネージドサービスをご契約のお客様については、検知・初動対応・影響範囲の切り分けまでを当社が実施します。法的対応や公表判断についてはお客様のご判断となりますが、技術的な事実関係の整理はご支援します。

事故発生時に慌てないためには、平時のうちに「誰が何を判断するか」を決めておくことが最も効果的です。当社では、体制と連絡経路の整理から併せてご支援しています。

よくいただくご質問

Q. 脆弱性診断はどのくらいの頻度で実施すべきですか。

A. 対象システムの変更頻度によります。年に数回しかリリースがないシステムであれば年1回、継続的にリリースするシステムであれば、リリース手順の中に自動検査を組み込み、外部診断は年1回の棚卸しとして位置づける構成をお勧めしています。

Q. ゼロトラストを導入すればVPNは不要になりますか。

A. 段階的に縮小はできますが、すぐに全廃できるケースは多くありません。特定の業務システムが古い接続方式にしか対応していない、といった事情が残るためです。当社では、まずVPN経由でなくても済む業務を切り出し、依存を減らしていく進め方をご提案しています。

Q. ランサムウェアへの備えとして、まず何をすべきでしょうか。

A. バックアップからの復元を実際に試すことです。取得できていても復元できない、という状態は珍しくありません。そのうえで、バックアップ先が本番環境と同時に被害を受けない構成になっているかを確認します。

Q. インシデントが発生した場合、どこまで対応してもらえますか。

A. マネージドサービス契約をいただいているお客様については、検知・初動対応・影響範囲の切り分けまでを当社が実施します。法的対応や公表判断についてはお客様のご判断となりますが、技術的な事実関係の整理はご支援します。

Q. 従業員向けの教育も依頼できますか。

A. 標的型メール訓練、および実際の事例を用いた勉強会をご提供しています。訓練は「引っかかった人を責めない」設計を基本とし、報告しやすい体制づくりを目的としています。

導入事例（抜粋）

ゼロトラスト基盤の導入で、社外からの業務アクセスを安全に開放

地方銀行 B 行／金融・保険／2024 年 9 月～2025 年 6 月（10 か月）

VPN 集中による通信遅延と、退職者アカウントの棚卸し漏れという二つの課題に対し、ID 起点のアクセス制御へ移行しました。

VPN 同時接続数	権限棚卸しの工数	退職者アカウント残存
1,400 → 210	月 40 時間 → 月 6 時間	平均 11 日 → 当日

住民向けオンライン申請基盤をガバメントクラウド上に構築

中核市 D 市／公共・自治体／2024 年 4 月～2025 年 9 月（18 か月）

紙と窓口が前提だった各種申請のうち、利用頻度の高い 42 手続をオンライン化。窓口来庁者数を年間で約 6 万人分削減しました。

オンライン化手続	年間窓口来庁者	1 件あたり処理時間
42 手続	約 6 万人分を削減	平均 18 分 → 7 分

ランサムウェア対策としてバックアップ設計を全面見直し、復旧目標を 4 時間に

医療法人 E 会／医療・ヘルスケア／2025 年 2 月～2025 年 11 月（10 か月）

同業でのインシデント発生を契機に、バックアップの世代管理と復旧手順を再設計。実際に復旧演習を行い、目標時間内の復元を確認しました。

復旧目標（RTO）	復旧演習	バックアップ保全性
未定義 → 4 時間	年 2 回を定例化	イミュータブル化 100%